

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 23 年 4 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置にしてある遠望カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震活動（図 3、図 4※）

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、乗鞍岳北部を震源とする地震活動が活発化しましたが、その後、地震活動は収まっています。

火山性微動や低周波地震は発生しませんでした。

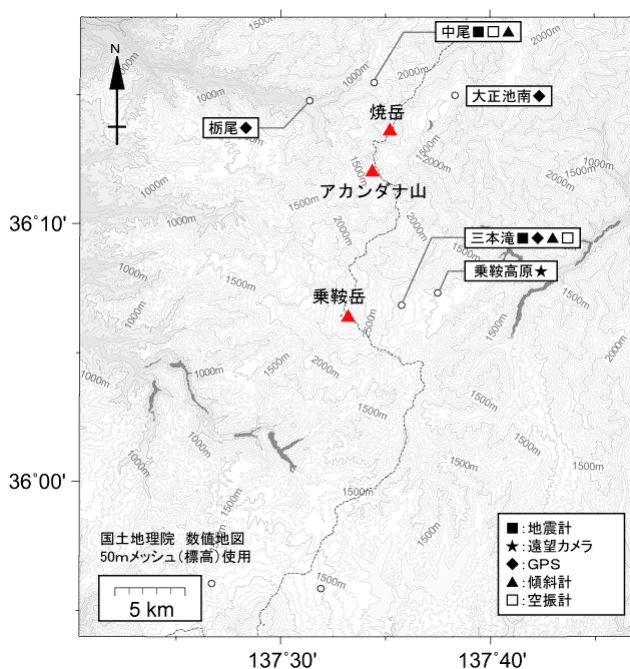


図 1 乗鞍岳 気象庁の観測点配置



図 2 乗鞍岳 山頂部の状況
(4 月 13 日 乗鞍高原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 5 月分）は平成 23 年 6 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 20 業使、第 385 号)。

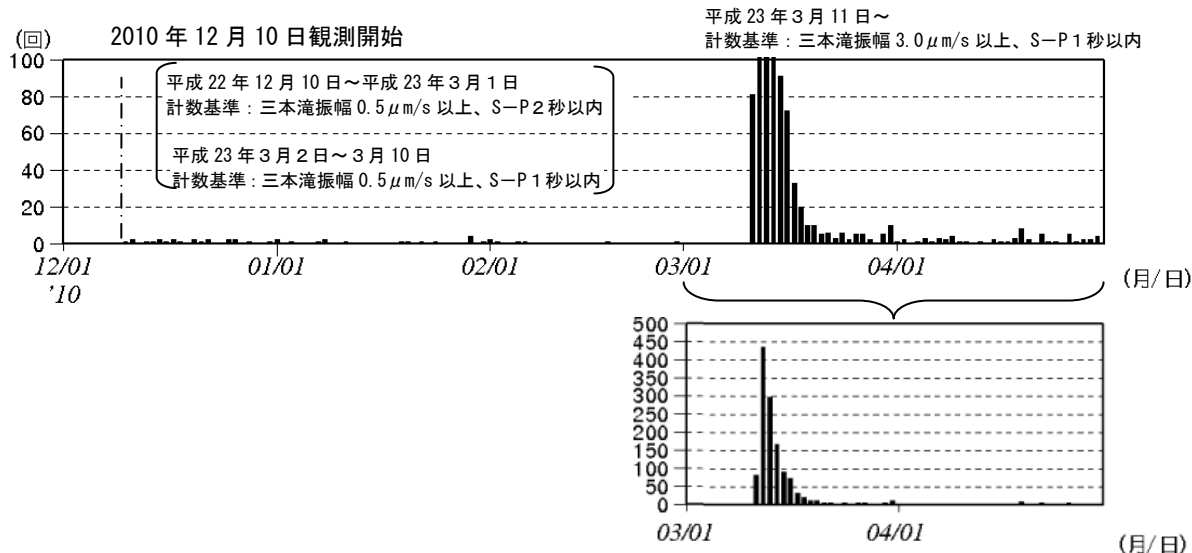


図3 乗鞍岳周辺の日別地震回数

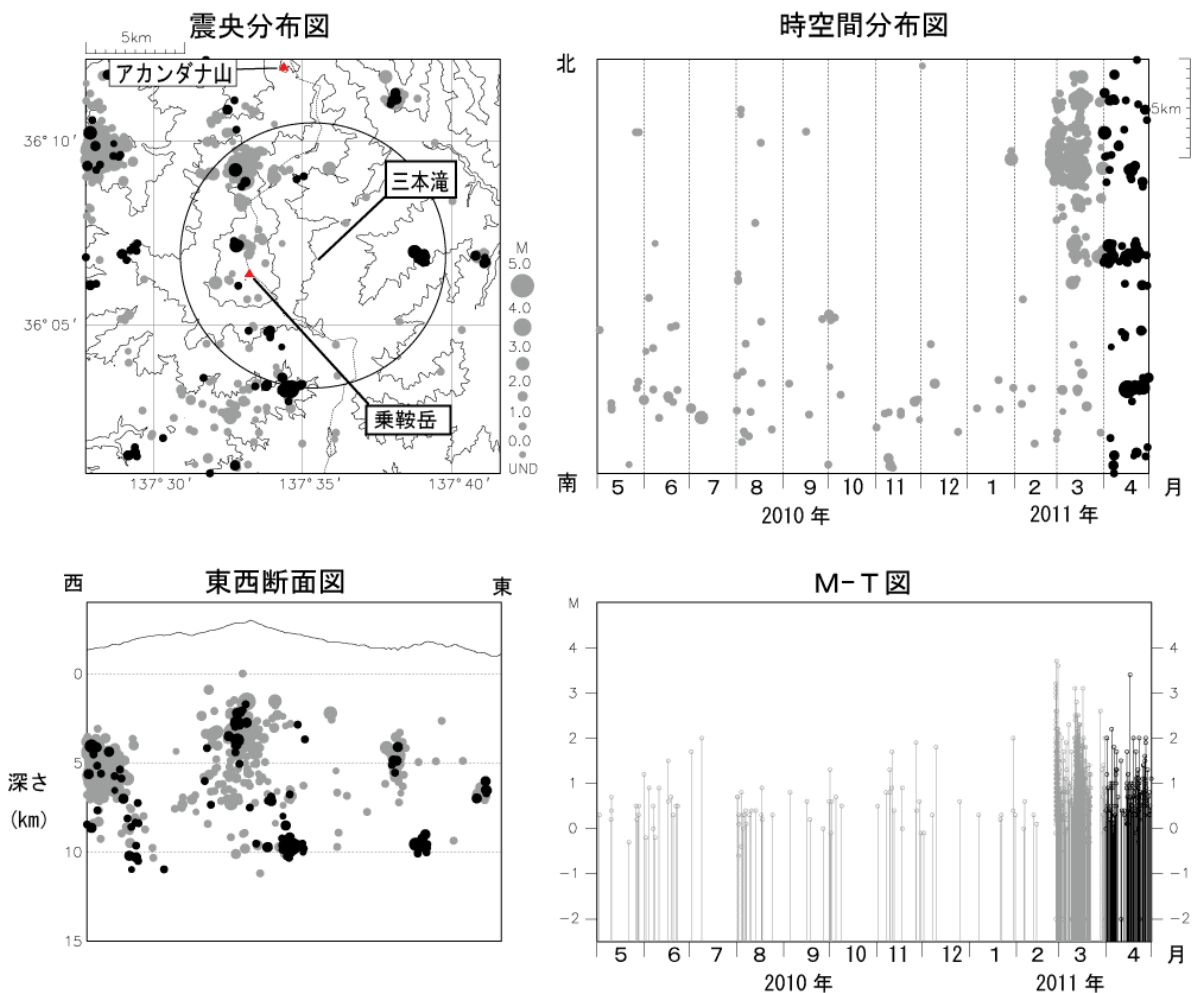


図4※ 乗鞍岳 広域ネットによる山体・周辺の地震活動(2010年5月1日～2011年4月30日)

● : 2010年5月1日～2011年3月31日

● : 2011年4月1日～4月30日

震央分布図中の円は図2の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示す

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

3月分、4月分は一部未処理の期間があります。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。